取扱説明書

ハンドパレット　共通

この度は、「KIKAIYA ハンドパレット」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
＊本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく安全にご使用ください。
＊本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。
（共通説明書となりますので実際の商品とは画像が異なる場合がございます）

コバヤシデンソー株式会社
〒729-0112 広島県福山市神村町字仁五下 4757-1
(M A I L) info@kikaiya.com

KIKAIYA
TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
  付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があり、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■製品使用上のご注意

- 製品は要領を熟知した人のみ操作をしてください。
- 通常荷物を乗せて移動する時はコントロールレバーをニュートラルにしてください。
  - ✓ ハンドルに余分な力がかからずスムーズな作業が行えます。
  - ✓ ピストンロッドに負担がかからずシャフトシールの寿命を延ばします。
- フォークや車輪・ジャッキ部・コントロールレバーなどに異常がないかよく確認してから使用してください。
  異常がある状態で使用を続けると思わぬ事故が起こる危険があります。
- 製品をスロープの上で使わないでください。
- 製品を水平でない場所に置くと勝手に動き出す可能性があります。人や物にあたって大変危険ですので注意してください。
- 製品に人を乗せて移動させないでください。
- 作業者は必ず安全靴や手袋・適切な作業着を着用してから作業してください。
- 荷物を移動させる時には回りに人を近づけないでください。
- 荷物をフォークの片側・先端などに偏った載せ方をすると、製品が破損する恐れがあります。また、荷崩れの原因にもなり非常に危険です。必ずバランスと重心をよく考えて載せてください。
- 能力以上の荷物を乗せないでください、故障の原因になります。
- 段差を乗り越える時は荷崩れなどに注意してください。
- 水分・塩分のある環境ではご使用いただけません。（ステンレス製を除く）
- 清潔で湿気のない場所で保管してください。

■使用方法（基本操作）

【コントロールレバー】

レバー位置	名　称	動　　作	
（上）	LOWER	フォークを下げる時	
（中）	DRIVE	フォークを固定する時	
（下）	RAISE	フォークを上げる時	

※機種によりハンドル操作の名称が異なる場合があります

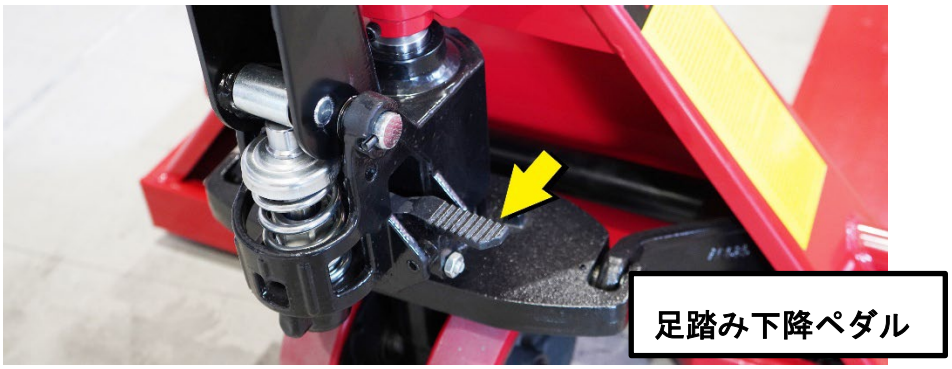
【上昇】

1. コントロールレバーを下（RAISE）に押し下げます。
2. ハンドルをポンピングするとフォークは少しずつ上昇します。

【下降】

1. コントロールレバーを上（LOWER）に引き上げます。
2. 油圧が抜けてフォークが下に下がります。
3. レバーを少しだけ握るとゆっくりと下がります。

ハンドル下にある足踏みペダルでも、フォークを下降させる事ができます。（機種によっては対応していない物もあります）



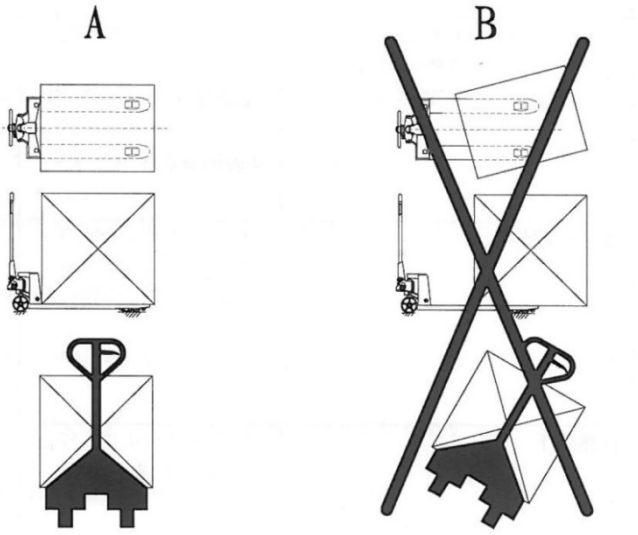
【荷物の移動】

1.　コントロールレバーを中（DRIVE）の位置にセットします。

※　荷物を移動させる時はフォーク全体に荷重を受ける様にセット（荷積み）してください。

※　一点で大きな荷重を受けるとフォークが曲がったり、変形したりする可能性があります。

※　使い終わったら荷物をフォークに載せたままにしないでください。



■トラブルシューティング

症　　状	問　　題	解 決 方 法
フォークが最高位まで上昇しない	● 作動油の不足	✓ 作動油の補充をする
フォークが上昇しない 上昇しても下がる	● 作動油に不純物が混入している ● 作動油の不足	✓ 作動油の交換・補充をする
	● チェックバルブ／レリーズバルブの不良	✓ チェックバルブ・レリーズバルブを分解清掃する
	● コントロールレバーの位置が悪い	✓ コントロールレバー／レリーズバルブを調整する
	● エアーを噛んでいる	✓ エアー抜きをする
フォークが下がらない	● フォークの変形や曲がりがある	✓ 修理
	● 偏荷重・重量オーバー	✓ 偏荷重を直す
	● コントロールレバーの位置が悪い	✓ コントロールレバーの位置を調整する
オイル漏れ	● オイルシール／その他パーツの不良	✓ 不良個所を交換する
自然降下	● リリーフバルブ／チェック弁の不良	✓ リリーフバルブ／チェック弁を分解清掃する
	● エアーを噛んでいる	✓ エアー抜きをする
	● シリンダーパッキンの不良	✓ パッキンを交換する

■メンテナンス

■エアー抜き

製品を輸送する際や分解する際にはジャッキにエアーを噛む事があります。
下記の手順でエアー抜きを行ってください。

1. コントロールレバーは下降にした状態のままでハンドルを 10 回程ポンプアップします。
2. 次にコントロールレバーを上昇にしてポンプアップします。
3. エアーが抜けるとフォークは上昇します。上昇しない場合は 1～2 を繰り返してください。

■メンテナンス

【作動油の点検】 **※必ずフォークを一番下に降ろした位置で点検作業をしてください**

- ジャッキ部の作動油の量は 6 ヶ月に一度点検してください。
- 不足している場合は補充してください。（総オイル量 260ml、注入オイルを 50-100ml 追加します）（ISO VG32　オイル全要領 0.4 リットル）

【日常点検】

- ハンドパレットを使う前に外観を目視で点検してください。
- オイル漏れや車輪の状態・コントロールレバー・フォークの曲がりや溶接箇所の亀裂またははがれなどが無いか点検してください。
- 異常がある場合は使用を中止して販売店にお問い合わせください。
- 本体が水に濡れたり汚れたりした際は布で拭き取って水分や汚れを取り除いてきれいにして保管してください。

【給油】

- ハンドパレットは1ヶ月に一度は給油してください。
- 車輪のベアリング・コントロールレバー・フォークの可動部などに給油します。